

も り 森林のたより

Karst
correspondence

2022
vol.46



令和3年度 貸借対照表 (令和4年5月31日現在)		(単位:円)	
《資産の部》		《負債の部》	
流動資産合計	401,361,877	流動負債合計	56,851,489
固定資産		固定負債合計	51,589,116
有形固定資産計	27,129,257	負債合計	108,440,605
無形固定資産計	17,535,411	《純資産の部》	
外部出資計	57,149,000	出資金合計	155,682,000
その他の固定資産計	0	利益剰余金合計	238,996,940
固定資産合計	101,813,668	資本準備金合計	56,000
繰延資産合計	0	組合員資本/純資産合計	394,734,940
資産合計	503,175,545	負債及び純資産合計	503,175,545

令和3年度 損益計算書 (令和3年6月1日～令和4年5月31日)						(単位:円)	
科 目	計	指 導	販 売	加 工	森林整備		
I 事業総損益							
1.事業総収益	482,073,943	0	37,261,202	0	444,812,741		
2.事業総費用	289,702,576	2,287,086	32,158,694	0	255,256,796		
事業総利益	192,371,367	△2,287,086	5,102,508	0	189,555,945		
II 事業損益							
1.人件費	131,262,571	1,084,229	2,386,673	0	127,791,669		
2.旅費・交通費	364,840	2,058	12,942	0	349,840		
3.事務費	2,478,890	13,981	87,936	0	2,376,973		
4.業務費	2,037,917	10,224	72,352	0	1,955,341		
5.諸税負担金	15,759,101	5,146	562,958	0	15,190,997		
6.施設費	15,778,891	88,993	559,738	0	15,130,160		
7.雑 費	457,834	2,582	16,241	0	439,011		
事業管理費計	168,140,044	1,207,213	3,698,840	0	163,233,991		
事業利益	24,231,323	△3,494,299	1,403,668	0	26,321,954		
III 経常損益							
1.事業外収益	2,939,451						
2.事業外費用	440,000						
事業外損益	2,499,451						
経常利益	26,730,774						
IV 特別損益							
1.特別利益	1,995,419						
2.特別損失	2,026,056						
特別損益	△30,637						
税引前当期利益	26,700,137						
法人税、住民税及び事業税額	6,500,000						
当期剰余金	20,200,137						
前期繰越剰余金 ※1	6,283,026						
目的積立金取崩額	0						
当期末処分剰余金	26,483,163						

令和3年度 剰余金処分案 (単位:円)			
科 目	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			26,483,163
II 剰余金処分額			19,000,000
1.法定準備金 ※2		9,000,000	
2.任意積立金 ※3		10,000,000	
III 次期繰越剰余金 ※4			7,483,163

- ※1. 前期繰越剰余金のうち、教育情報資金は、1,000,000円であった。
※2. 法定準備金は当期剰余金の5分の1以上である。
※3. 任意積立金のうち、目的積立金は現在ありません。
※4. 次期繰越剰余金中、教育情報資金は、1,000,000円である。

第25回通常総代会提出議案

- ※第1号議案 令和3年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について
※第2号議案 令和4年度事業計画の設定について
※第3号議案 令和4年度役員報酬の決定について
※第4号議案 令和4年度森林保険調査事務手数料の決定について
※第5号議案 令和4年度における借入金の最高限度額の決定について
※第6号議案 令和4年度における貸付金の利率並びに一組組合員に対する貸付金額の最高限度額の決定について
※第7号議案 令和4年度における余裕金預け入れ先金融機関の決定について
※第8号議案 役員退任慰労金の支払いについて
※第9号議案 任期満了にともなう理事、監事の選任について
※第10号議案 カルスト森林組合林地処分事業実施規程の一部改正について
※第11号議案 カルスト森林組合森林経営規程の一部改正について
※第12号議案 カルスト森林組合規約の一部改正について
※第13号議案 森林組合系統運動について
※付帯決議 総代会の議決事項中、行政庁に提出する書類が、当該行政庁の指示に基づき補正変更を要する場合は、議決の主旨に反しない範囲において字句の修正等の補正変更を理事会に一任する。

通常総代会 第25回開催!

第25回通常総代会を令和4年8月26日(金)・午後1時00分よりサンワーク美祢(美祢勤労者総合福祉センター)で開催した。
出席者数は総代定数200名に対し、本人出席42名、委任出席0名、書面議決127名、計169名で、出席率85%であった。
議長には美祢市の松井憲一郎氏を満場一致で選任し、第1号議案から第13号議案、付帯決議まで挙手多数で可決・承認され、議案の審議を終了した。
また、任期満了に伴う理事・監事の選任については、役員選任規程第6条により無記名で賛否の投票を行い、理事12名、監事3名の新役員を選出した。



組合長
高須 修三

ごあいさつ

錦秋の好時節を迎え、組合員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

過日、第25回(8月26日)通常総代会を無事終えることが出来ました。ひきつづきのコロナ禍ではありましたが、3年ぶりに来賓をお迎えし、コロナ禍以前の形式に戻して実施致しました。ご出席頂きました皆様には、感染症拡大防止対策の徹底のお願いを申し上げます、ご協力を頂きましたことを、重ねてお礼申し上げます。本年は役員改選年にも当たり、理事12名監事3名の候補者が総代会においてご承認を頂き、体制を新たにし組合運営にあたることとなりました。組合員の森林経営の向上は勿論ですが、森林環境の健全化にも努めて参ります。

さて、この森林環境の健全化ですが、針葉樹・広葉樹問わず資源量を増やし本格的な利用期を迎えて期待も大きいのですが、一方では課題も多く、特に、人工林は所有者の高齢化や後継者不足等により手入れが行き届かず森林資源は劣化の傾向にあります。不均一な林分や劣勢な木などが木材の生産性や収益性を悪化させているのも事実ですが、多面的機能の維持・増進を図るためには、これらのマイナス要因を含む、収益率が低い、または収益の望めない山林に対しても、何らかの手立てを講じる必要があると考えています。最近では、環境面や経済面で不利だと問題視されていた低質材が木質バイオマスとして活用され、むしろ需要を伸ばしています。販売価格は安いのですが伐採後の林地残渣も少なくなり、植林のための地拵え作業が軽減

出来て、「植える・育てる」ことに有利に働いています。それでもなお、木材の需要拡大や加工の生産性向上・流通全体の効率化など、木材産業全体の底上げや強化が必要となります。川上側(山側)に軸足を置いています当組合としても、山林からの利益還元に直結する木材の販売(木材供給力)の強化やコスト削減を図ることが課題となります。また、更なる効率化のためには時間短縮を図ることが重要で、計画の整合性向上や集約化施策等、あらゆる角度から精度を上げる必要に迫られています。その解決策としては、スマート林業(先進技術)の導入を図っていききたいと思っています。既に実証試験として導入しましたGNSS測量(人工衛星を使用した測位技術)やUAV(無人航空機)による空中写真撮影と解析などにより、情報収集の精度向上と所要時間の大幅な短縮が実現し、作業への早期着手が可能になりました。

さらに、新技術の導入は路網の設計にも有効と考えています。地形や資源の質・量を正確に把握し、搬出方法・搬出経路の検討時にスケールメリットを活かせるなどコスト削減上の利点は多数あります。特に、当組合は面的な施策での作業性や移送コスト等を意識することで「コンパクトな地域循環型システム」を構築することが重要と考えています。もちろん課題はありますが、管内の3市並びに山口県農林水産事務所とご相談・検討を重ねながら総合的に判断し進めてまいります。同時に、先進技術により取得した詳細・正確な側近情報を基に、組合員の皆様には最新の森林情報をお届けしたいと考えています。また、広報誌等を利用して、全国的な林業の情勢等もお届けしたいと思っていますので、積極的に組合をご利用いただくようにお願い申し上げます。

依然として林業経営を取り巻く環境は厳しい状況にあります。組合運営には役職員一丸となつて努めて参ります。組合員の皆様には引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新役員ご紹介 ※令和4年8月26日現在

●代表理事組合長
●理 事

●代表監事
●監 事

高須修三 第2区(美祢市美東町・秋芳町以外の美祢市の区域)
志賀研治／重枝尚治／池田忠妃己／阿武恒美 第1区(宇部市・山陽小野田市の区域)
古屋勝美／篠田龍男 第2区(美祢市美東町・秋芳町以外の美祢市の区域)
白石一隆／河村明彦／篠田 卓／松原賢治 第3区(美祢市美東町・秋芳町の区域)
山田悦子 全区(当組合の区域全体)
馬屋原眞一 第2区(美祢市美東町・秋芳町以外の美祢市の区域)
永見富雄 第1区(宇部市・山陽小野田市の区域)
重村暢之 第3区(美祢市美東町・秋芳町の区域)



『針・広葉樹の一体型整備』による森林再生モデル事業 公益信託 農林中金森林再生基金(森力基金)に取り組んで

地域資源の循環利用を目指した面的な整備を行い、低質材や大径化した材をバイオマス燃料や椎茸生産等、地域内で活用可能な森林へ誘導し、森林の多面的機能の向上と林業経営の両立を図るための実証試験を行いました。

天然生林更新伐と広葉樹の活用

①植生調査の実施と目標林型の決定

地域住民が自ら森林整備を継続して実施できる林分への誘導を目指し、数年後に販売が見込まれる優良広葉樹で胸高直径30cm以下の樹木を選定し、200本/ha程度残すこととしました。



②施業の実施

特別天然記念物に指定された地域であることから、石灰岩の保全をしながら森林整備を行う必要があるため、スイングヤーダによる架線集材を行いました。



③チップ化

林地残材の削減とチップボイラー等への有効活用を目指し、山土場でのチップ化に取り組みました。また、山土場でのチップ化と枝条のままとトラック運搬する場合を比較し、生産性・コスト計算を行いました。



④木材の用途別販路開拓

大径化した広葉樹を伐採・搬出し、幹部の先端や枝条はチップ化して販路開拓に取り組みました。近隣のチップ工場やバイオマス発電施設等と協議し、一部を発電用チップとして買い取っていただきました。



その他の取組・検証

施業の効率化・省力化を目指して次の取り組みを行い、効果を検証しました。

◎植栽地へチップの敷設



草の成長を抑制し、下刈の軽減に繋げるため、植栽地にチップを敷きました。令和4年8月時点では、抑制効果が認められました。

◎繊維ロープの活用



通常使用されるワイヤーに比べ、繊維ロープの重量は約1/6と軽量なため、身体的負担が軽減されました。

◎資材の架線運搬



スイングヤーダを活用してシカ柵資材を運搬しました。人力運搬と比べ、人役数を1/2にする事ができました。

◎小型グラップルトラックの実用



積込工程で、今回の作業システムではボトルネックとなりました。

◎ドローンの活用



リードロープをスイングヤーダの先柱まで運ぶなど、ドローンを活用して軽労化に繋げることができました。

◎薪づくり



今回の検証ではコスト高となり、事業化は難しいという結果となりました。

関係者の皆様のご協力により今回の事業で様々な経験をさせていただき感謝申し上げます。
今後も新しい技術を取り入れ、スマートな林業を目指します。

総代名簿

組合員の代表として総代の方々が皆様の地区から選出されましたので、ご紹介いたします。

任期は令和4年6月1日から令和7年5月31日までの3年間です。定数については定款により200名、選挙区ごとの定数は総代選挙規程により宇部市地区33人、山陽小野田市地区21人、美祢市美東町・秋芳町以外の美祢市地区66人、美祢市美東町地区45人、美祢市秋芳町地区35人となっております。

労働災害の防止に向けて

(株)森林環境リアライズ専務取締役 石山浩一氏を講師として招き、林業労働安全に係る研修会をサンワーク美祢で開催しました。



木材市況表

県森連山口共販所/第958回
令和4年9月9日
(※単位:円/1㎡当たり)

樹種	長さ	径級	中値
杉	4m	14~16	13,000
		18~22	16,000
		24~28	15,000
		30上	13,500
	3m	14~16	18,000
		18~22	18,000
桧	4m	24上	14,500
		14~16	18,000
		18~22	19,000
		24~28	19,000
	3m	30上	—
		13	—
		14~18	22,000
		20~22	20,000
		24上	19,000

9月1日付で機構の人事配置に変更がありましたのでお知らせいたします。

美秋林業まつり中止のお知らせ

今年の美秋林業まつりは新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、開催を中止することといたしました。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

編集後記

2022 vol.46 (年2回発行)

各地より紅葉の便りが届く季節となりました。

今回は総代会を中心に、新しい役員、総代の方々のご紹介等をお届けしました。

組合では、研修会の開催や新しい機器を導入するなどして、森林で働く人たちのために安全で快適な職場づくりに向けて取り組んでいます。

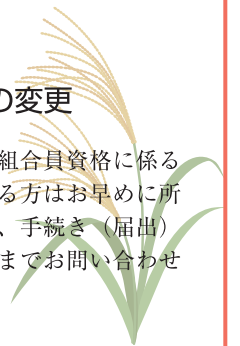


組合員の名義変更をお願いします。

組合員資格に係る届出のお願い

- ① 死亡による相続
- ② 譲渡
- ③ 記載事項(住所等)の変更

上記に該当する変更が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要となりますので、該当される方はお早めに所定の手続きをお願いいたします。なお、手続き（届出）の詳細につきましては、本所・総務課までお問い合わせください。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL.0837-52-3332 / FAX.0837-52-2587